



国際ロータリー第2530地区 県北第一分区

# 福島南ロータリークラブ会報



第6回例会

2019. 8. 21



国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー  
Mark Daniel Maloney

国際ロータリー第2530地区ガバナー 芳賀 裕

福島南ロータリークラブ 会長 鈴木 光一 幹事 菅野 良二  
目標「奉仕の心で人との繋がりを大切にしよう」

会員/73名 出席/47名 出席率/64.38%  
マークアップ/26名 修正/73名 修正後率/100%

## 会長挨拶 鈴木 光一 会長



昨日、福島テルサにて開催されました古閑裕と音楽フェスティバルは福島商業高校吹奏楽部によりますオリンピックファンファーレで開演し、福島南 RC の歌を作った AVE (エイブ) さんによる「阪神タイガースの六甲おろし」「ジャイアンツ闘魂込めて」や、早稲田大学応援部による応援歌や、早稲田大学と慶應義塾大学の歌を作ったのも古閑裕と先生だと知りライバルのチームや学校など幅広い音楽活動を知ることが出来感銘致しました。

R L I 方式によるロータリー・リーダーシップ研究会の研修をパート1は福島市民会館で4月27日、パート2は福島県青少年会館で、パート3ユラックス熱海8月11日と3回にわたり研修を受け無事終了証書を頂いてまいりました。研修セッションパート事にデスクッションリーダーによるフリートーク形式で9時~17時までと一日がかりの研修会でした。地区の他クラブの例会の進行、会員が減少しているクラブや欠席会員の扱い方や会員同士の交流に工夫をして移動例会やっているクラブ、年間の例会の回数をどうするかなど様々な意見を聞くことが出来勉強になりました。R L I 方式によるリーダーシップ研究会は今後も引き続き開催されますので研修会へ参加してみたい方やクラブから指名されましたら是非研修を受けて頂きますようお願い致します。

話は変わりますが2~3日前にNHKで銀座に燕(つばめ)が帰って来て雛(ひな)を育てている番組を見ました、何故だろうと見ていると空中でミツバチを採って雛に運んでいる映像でした、その時に銀座ミツバチ・プロジェクトを思い出しましたし、何年か前になります当クラブでバスを貸し切り聖路加病院の名誉院長(存命)でいらした日野原 重明先生の当時100歳の懸念講演と銀座のRCにマークアップをし、屋上緑化に取組みや蜜蜂の養蜂などの説明を聞いたこと今になって進化し続ける人間社会において食物連鎖ではありませんが人間が工夫して住みやすい環境を作ってやる事だと感じました。RCにも言える事かもしれませんが皆様と一緒に良いクラブに行きたい。

お客様 県北第一分区ガバナー補佐 遊佐 金一 様、分区幹事 濱崎 広志 様、二本松 RC 直前会長 三津間 誠吉 様 お忙しい中ご参加ありがとうございました。



## インターアクトクラブ 第26回 年次大会 参加報告 青少年奉仕委員会 安齋 常克 様

8月8日と9日の2日間で開催された 2019-20年度 国際ロータリー第2530地区インターアクトクラブ第26回年次大会の報告。年次大会のホスト校は 福島東稜高等学校、スポンサークラブは福島 RC、福島県青少年会館を会場として開催されました。大会テーマを「スポーツ文化と地域振興」と掲げ開催されました。インターアクトクラブ参加校は、高等学校13校、中学校3校、参加生徒105名。参加ロータリークラブ12クラブ、参加ロータリアン33名。



1日目、基調講演「東京2020オリンピック パラリンピック大会への取り組み福島アクション&レガシープラン2019」講師は福島市役所オリンピック推進室 室長 三浦 裕治様、午後「地域の活性化につながるクラブづくりから福島ユナイテッドFCの挑戦」講師は 福島 RC 会員 福島ユナイテッド 大表 鈴木 勇人 様。

2日目は午前9時にバスで 3コースに分散して外部研修を実施。午後は午前中の研修を記事にまとめ新聞を作成し班別に報告発表会。ホスト校校長小原さんは、福島 RC 会員、インターアクトクラブ活動に積極的な感じを受けました。

## ガバナー補佐 第二回訪問 県北第一分区ガバナー補佐 遊佐 金一 様



今日は第2回のガバナー補佐訪問に浜崎幹事と共に訪問させていただきました。県北第一分区の7つクラブに第一回のガバナー補佐訪問をさせて頂き、たくさんの友情と「つながり」を感じながら、貴重な経験をさせて頂いております。

私は28年前に入会以来 奉仕としては、地域に重点をおいてきました。公園の植樹、駅や道路の脇などにはブランターを設置し続けました。また、智恵子の森公園には石で作った、椅子テーブルを寄贈しました。クラブとしては、これらの社会奉仕の思いを会員と共に協議のうえ実行してきました。地域の人々に喜ばれることがより良い奉仕であると思います。現役でいられる限り奉仕は続けて行くつもりです。

R I 会長マーク ダニエル マローニーさんが8月4日福島に来県しました。福島中央ロータリークラブの「30周年事業特別例会」に参加、和やかに開催されました。来賓のあいさつ後、マローニー会長さんの祝辞中、青森県沖の地震が発生しましたが、会長はびっくりもしないでテーブルにつかまっていた。会長の体と心の大きさ感じました。

2020年3月は東日本大震災から10年。3月26日には「復興オリンピック」の聖火リレーが福島県から出発します。同年3月21日(土)、22日(日)「復興フォーラム」開催予定です。つきましては、各地域で復興支援を受け、自らも支援活動を行ってこられた多くの実績や、支援活動が姉妹クラブや友好クラブ等に発展し現在の奉仕活動につながっているという事例等ご提供をお願いしたい。当地区から東日本大震災からの復興を発信し、今年度の R I テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」を体現し、更なるロータリーの活動の発展につながるようにしたいと考えております。

※紙面の都合上スピーチ内容を(相当に)省略しております。全文は事務局まで

## Fukushima Ambassador Program 国際奉仕委員会 横山りつ子委員長より

このプログラムは福大マクマイケル ウィリアム助教が海外へ留学生を通じて津波や原発事故による福島県への物質的、経済的、社会的影響を、実践活動を通した学びを提供する事で、東日本大震災が福島県に住む人々にどのような影響を与えているのかをより深く理解してもらうこと。福島への誤ったイメージを持っている場合、それを払拭し正しい福島の姿を知ってもらうこと。帰国後どのような形で福島への復興に貢献できるか考えてもらう事が目的です。参加学生は「福島は故郷」「友人や家族に現実を伝えたい」「自分の目で確かめて福島にいます」「福島は安全で美しい場所です」「ここに来られたことを誇りに思います」など福島の現状と魅力を母国に伝え、SNSで発信している姿をNHKワールドが取材しました。福島県内被災地は、物質的なものは充分足りており風評だけが根強く残っています。これから社会にでる大学生にこのプログラムを理解し、現状を把握し知りえた正しい情報を発信してもらうことが風評被害払拭の一助となります。



## 例会予定

- ・8月28日(水)16時40分~  
福島成蹊高校 I A C 例会  
皆様ぜひご参加ください
- ・8月28日(水)新会員スピーチ、会員増強委員長スピーチ
- ・9月4日(水)誕生祝い、友誼みどころ、青少年奉仕委員会報告
- ・9月11日(水)東京麹町 RC との姉妹クラブ 8周年記念例会(夜間例会)

事務局: 〒960-8151 福島県福島市太平寺字過吹6-2ガ・メイファイフ 1F2号室 TEL:024-546-3793 FAX:024-545-7878  
HP: <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary> MAIL: [f-southrotary2530@inaka.ne.jp](mailto:f-southrotary2530@inaka.ne.jp)  
例会場: クラークリアンテ(旧パルコ福島) 〒960-8101 福島県福島市上町4-30 TEL:024-523-3811(代) FAX:024-523-0375